

ニューセラミックス懇話会第259回研究会・センシング技術応用研究会第231回研究例会 合同研究例会



ご案内

ニューセラミックス懇話会とセンシング技術応用研究会の合同研究例会を下記の通り開催いたします。研究例会のご参加は、事前申し込みが必要です。4月16日(水)までに事務局までお申し込みください。多数お誘い合わせの上、ご来会いただきますようご案内申し上げます。※オンラインでも参加できます。

研究例会参加費: 会員 無料、非会員 ¥10,000

日時: 令和7年4月23日(水) 13:15~16:45

会場: 大阪産業創造館 6階 会議室E (オンライン併用)
〒541-0053 大阪市中央区本町1丁目4-5 URL: <https://www.sansokan.jp/map/>
(大阪地下鉄「堺筋本町」下車徒歩10分)

主催: ニューセラミックス懇話会、センシング技術応用研究会

連絡先:

- ニューセラミックス懇話会 事務局
TEL・FAX: 0725-53-1919
E-mail: ncf-office@ncf.kyoukai-osaka.org URL: <https://ncf.kyoukai-osaka.org/>
- センシング技術応用研究会 事務局
TEL・FAX: 0725-53-3155
E-mail: sstj@sensing-tech.org URL: <https://sensing-tech.org/>
〒594-1157 和泉市あゆみ野2-7-1 地独)大阪産業技術研究所 和泉センター内

申込先: 下記URLからお申し込み下さい。
<https://forms.gle/hsLyJiiCgrTgXs2h8>



※右記QRコードからもお申し込み可能です。



開会挨拶

13:15~13:20

センシング技術応用研究会 会長 筒井 博司 氏

<講演>

1. 13:20~14:20 (質疑応答を含む)

「有機圧電体の開発と評価技術および最近の動向」

株式会社 クレハトレーディング センシングマテリアル部
主席部員 森山 信宏 氏

ポリフッ化ビニリデン(PVDF)に圧電性がある事は、1969年に小林理研の河合平治により発見されました。それを皮切りに何種類かの合成高分子の圧電体が見いだされています。日本が世界にリードした研究です。本講では、PVDF圧電体の物性、それを踏まえた応用に際してのコツ、そして柔らかいが故の圧電定数計測に際しての留意事項について述べます。

<休憩> 14:20~14:30

<講演>

2. 14:30~15:30 (質疑応答を含む)

「AEセンサを用いた非破壊検査法「床版内部健全度マッピング」の開発」

株式会社東芝 研究開発センター 知能化システム研究所
シニアフェロー 渡部 一雄 氏

インフラ老朽化や人手不足によりインフラ構造物の維持管理には新たな技術導入が求められています。アコースティック・エミッション(AE)センサを用いて、橋梁部材の内部損傷を可視化する技術を開発しました。弾性波伝搬を考慮した技術のポイント、高速道路での実証実績について紹介します。

<休憩> 15:30~15:40

<講演>

3. 15:40~16:40 (質疑応答を含む)

「インフラ、ファクトリ等のIoTセンシングの普及に不可欠な環境発電(エネルギーハーベスティング)技術」

合同会社かちクリエイト 代表社員 勝村 英則 氏

深刻化する人手不足を背景に、インフラやファクトリ分野のIoTは今後大きな成長が見込まれます。この分野におけるIoTの普及に不可欠な環境発電技術(エネルギーハーベスティング)に焦点を当て、最新技術動向や実用化事例などについて解説します。

閉会挨拶

16:40~16:45

ニューセラミックス懇話会 会長 林 晃敏 氏